

競技注意事項

1. 競技規則について

(1) 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本競技注意事項により実施する。

2. 練習について

(1) 7:30～8:50 まではトラックを使用してもよい。

(2) 8:50 以降は、競技の進行状況に応じてトラックを部分的に開放するが、競技役員の指示に従うこと。

(3) 陸上競技場南側（バックストレート側）にある陸上自衛隊船岡駐屯地との境界道路でウォーミングアップを行なってはならない。

3. 招集について

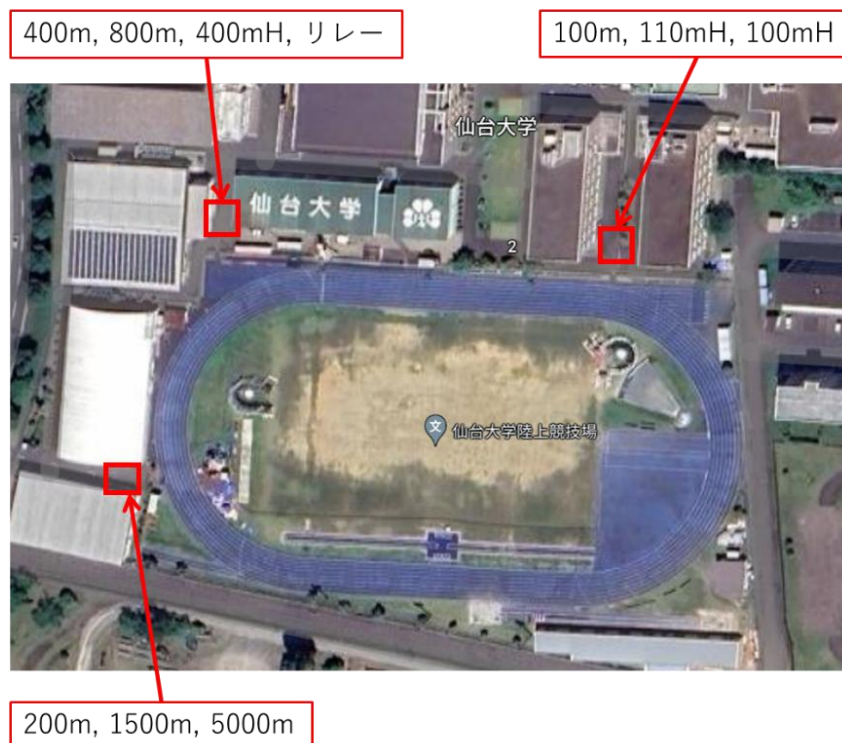
(1) 競技日程記載の時間のとおりに行なう。

(2) トラック競技の招集は下図の場所にて、フィールド競技は各種目の競技場所にて行なう。

(3) リレーのオーダー用紙（大会本部に用意）は、招集開始時刻の 30 分前までに大会本部に提出すること。
メンバーの編成については TR24.10 を適用する。

(4) 同時進行種目への出場競技者は、招集を受けられない種目の招集開始時刻までに、大会本部に申し出る
こと。

トラック競技の招集場所



4. 欠場について

- (1) やむを得ず欠場する場合は、招集開始時刻の 30 分前までに棄権届（大会本部に用意）を大会本部に提出すること。
- (2) TR4.4 は適用しない。

5. アスリートビブスについて

- (1) 本連盟より配布されたアスリートビブスを、競技用トップスの胸と背につけること。ただし、跳躍競技に参加する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (2) 5000m では、招集時にアスリートビブスナンバーを確認した後に、レーンナンバーのビブスを配布するので、競技用トップスの胸と背につけること。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識（1 枚）を招集時に配付するので、ショーツまたは下半身の右側につけること。

6. 用具について

- (1) 競技で利用できるシューズは、TR5.2 に従う。
- (2) 棒高跳用のポールは、各チームで持参したものを使用すること。
- (3) 投てきに使用する用具は、競技場備え付けのものを使用すること。

7. 競技について

(1) フィールド競技について

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。優勝が決まり最後の 1 名になったら、バーを高さまたはバーの上げ幅は審判員と相談の上、その競技者が決定する。ジャンプオフ（第 1 位決定戦）では、バーの上げ下げの幅は、走高跳で 2cm、棒高跳で 5cm とする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1m70 1m90	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	+3cm
	女子	1m35 1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	-	+3cm
棒高跳	男子	3m60 4m20 4m80	3m60	3m80	4m00	4m20	4m40	4m60	+10cm
	女子	2m60 3m00 3m40	2m60	2m80	3m00	-	-	-	+10cm

- ② 三段跳の踏切版の位置は、男子 11m、女 8m とする。

(2) 混成競技について

① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
男子 十種競技	走高跳	1m45 1m55	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	+3cm
	棒高跳	2m50 2m90	2m50	2m70	2m90	3m10	3m30	-	-	+10cm
女子 七種競技	走高跳	1m15 1m25	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	+3cm

(3) 競技結果について

- ① 各種目の結果の正式発表は、アナウンスにて行う。
- ② 競技結果、番組編成等は記録処理終了後、随時、本連盟 HP（速報サイト）にて発表する。

8. 抗議と上訴について

- (1) 競技の結果または行為に関する抗議は、正式結果がアナウンスにて発表された時刻を基準とし、30 分以内に競技者自身またはチーム公式代表者から審判長に対して口頭で行うこと。
- (2) 審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金（1 万円）を添えてジュリー（上訴審判員）に上告することができる。なお、この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は返金しない。

9. 表彰について

- (1) 成績の優れた競技者（男女各 1 名）に、優秀選手賞を閉会式にて授与する。
- (2) 各種目の第 1 位に入賞した競技者にはメダルと賞状を、第 2 位および第 3 位に入賞した競技者には賞状を表彰式で授与する。第 4 位から第 8 位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、大会本部にて受け取ること。
- (3) 表彰式の際の服装は、各チームの公式 T シャツあるいはジャージを着用し、下は公式ジャージを着用すること。

10. その他

- (1) 競技中の発病、負傷に対して主催者は応急処置を行うが、その後の責任は負わない。ただし、2025 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- (2) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

- (3) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (4) 大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。